

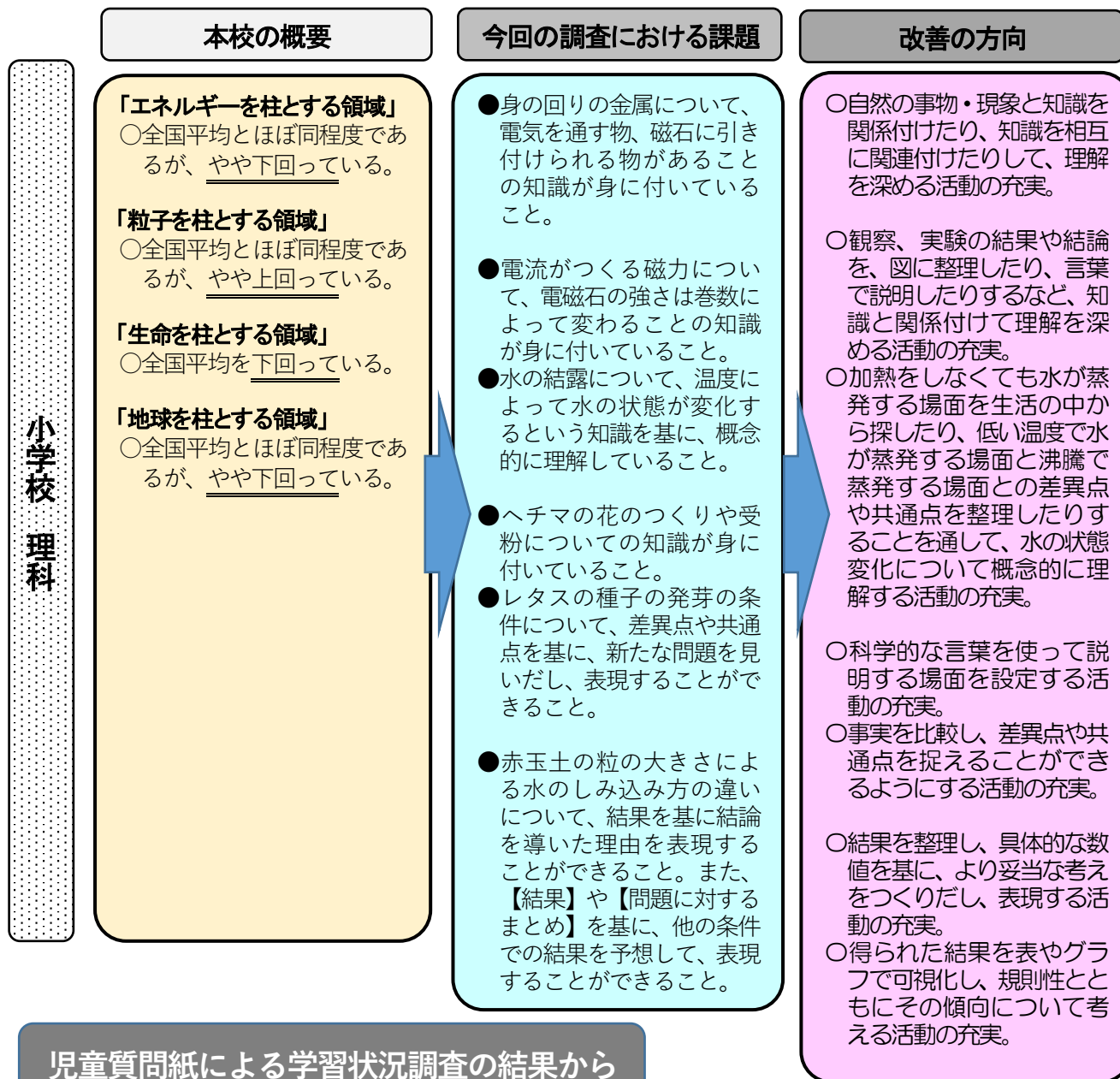
令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果について

今春に実施されました標記調査の結果につきまして、個人懇談の中で該当学年の6年生に個票を配付し、現状と今後の取組について共有させていただきました。この度校内での分析を終え、本校全体の児童の課題や改善の方向について下記のとおりまとめましたので、お知らせいたします。

【全国の平均正答率と比較して、以下の基準でお伝えします。】

- ・+3.1ポイント以上 ⇒「上回っている」
- ・+3.0ポイントの範囲内で全国平均以上⇒「ほぼ同程度であるが、やや上回る」
- ・全国平均と同じ ⇒「ほぼ同程度」
- ・-3.0ポイントの範囲内で全国平均以下⇒「ほぼ同程度であるが、やや下回る」
- ・-3.1ポイント以下 ⇒「下回っている」

	本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
小学校 国語	「言葉の特徴や使い方に関する事項」 ○全国平均とほぼ同程度であるが、 <u>やや上回っている</u> 。	●情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができること。 ●話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができること。 ●学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができること。	○目的や意図に沿って、線や囲みなど図示することによって自分なりに情報を整理できるようにする活動の充実。 ○話し手の考えと自分の考えとを比較して共通点や相違点を整理したり、共感した内容や納得した事例を取り上げたりして、自分の考えをまとめる活動の充実。 ○文や文章の中で使おうとする習慣を身に付けるようにする活動の充実。
	「情報の扱い方に関する事項」 ○全国平均を <u>下回っている</u> 。		
	「我が国の言語文化に関する事項」 ○全国平均を <u>上回っている</u> 。		
	「話すこと・聞くこと」 ○全国平均とほぼ同程度であるが、 <u>やや下回っている</u> 。		
	「書くこと」 ○全国平均とほぼ同程度であるが、 <u>やや上回っている</u> 。		
小学校 算数	「読むこと」 ○全国平均とほぼ同程度であるが、 <u>やや上回っている</u> 。	●異分母の分数の加法の計算をすることができること。 ●分数の加法について、共通する単位分数を見だし、加数と被加数が、共通する単位分数の幾つ分かを数や言葉を用いて記述できること。 ●角の大きさについて理解していること。	○分数の加法について、数の表し方の仕組みや数を構成する単位に着目して、共通する単位分数を見出すことで、既習の整数の加法に帰着できるようにする活動の充実。 ○異分母の分数の加法や減法の計算について、通分の意味を理解するとともに、その計算が確実に行えるようにする活動の充実。 ○角の大きさを比べる際に、角を作る辺の長さの大小と角の大きさの大小を混同することなく、辺の開き具合に着目して比べることができるようにする活動の充実。
	「数と計算」 ○全国平均とほぼ同程度であるが、 <u>やや上回っている</u> 。		
	「図形」 ○全国平均を <u>上回っている</u> 。		
	「測定」 ○全国平均を <u>上回っている</u> 。		
	「変化と関係」 ○全国平均を <u>上回っている</u> 。		
	「データの活用」 ○全国平均を <u>上回っている</u> 。		



全国平均より肯定的な回答の割合が高い項目⇒○

全国平均より肯定的な回答の割合が低い項目⇒●

自分自身・他者との関わりに関すること

- 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。
- いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。
- 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。
- 人の役に立つ人間になりたいと思いますか。
- 学校に行くのは楽しいと思いますか。
- 友達関係に満足していますか。

※教師が、子どもの取組のよさを見取り、褒めたり励ましたりすることが、子どもの自己肯定感を高めることにつながっている結果が出ています。

※本校の6年生は、規範意識が高いという結果が出ています。また、「誰かの役に立ちたい。」という意識が高い子どもが多い結果が出ています。

※友達関係については、「満足している。」という子どもが多い一方、「どちらかといえば、満足していない。」という子どもも一定数いました。今後も、円滑な友達関係を築けるような指導に努めていきます。

全国平均より肯定的な回答の割合が高い項目⇒○

全国平均より肯定的な回答の割合が低い項目⇒●

生活に関すること

○朝食を毎日食べていますか。

○毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。

○健康に過ごすために、授業で学習したことや保健室の先生などから教えられたことを、普段の生活に役立てていますか。

○読書は好きですか。

※はつらつタイム、栄養に関する食指導、家庭科の授業などにより、子どもの食や起きる時刻などに関する意識に高まりが表れています。

※さくら図書館の司書さん、ボランティアの皆さん、教師の関わりによって、読書好きの子どもが増えていることが分かる結果が出ました。

学習に関すること

○先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか。

○国語の授業で、先生は、あなたの学習のうまくできていないところはどこかを伝え、どうしたらうまくできるようになるかを教えてくれますか。

○国語の勉強が得意ですか。

○国語の勉強は好きですか。

●算数の勉強は好きですか。

●算数の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか。

●自然の中や日常生活、理科の授業において、理科に関する疑問を持ったり問題を見いだしたりしていますか。

※子どもの学習状況を捉え、丁寧に関わることで、本校6年生の国語、算数の学習状況の結果が、全国の6年生と比較して、全国平均を上回っている項目が多いこととつながっていると考えられます。

※「算数の得意ですか、好きですか」という質問項目は、「当てはまる。」「どちらかといえば、当てはまる。」が全国の6年生と比較して同水準という結果が出ています。けれども、「算数が好きではない。」という子どもが多く、あきらめずに考える学び方、自ら説明しようとする意識が高いとは言えないこととも関係していると考えられます。

※本校では、昨年度から、「知りたい。」「考えたい。」「やってみたい。」など、子どもが「～したい」という思いをもって主体的に学習に向かえるようにする授業づくりを行っているところです。子どもの学びに対する意識、学び方、学力は、一朝一夕で高まるものではありません。引き続き、子どもの思いや考えを大切にしたい授業づくりを行い、子どもの学びに対する意識、学び方も高めていきたいと考えています。